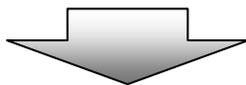


「自治・安全」部会報告（自治と地域力）

円卓会議・部会の議論から見えてきた施策と事業

身近な地域活動に関する意見

- ① 挨拶・声掛けが気軽にできるまちがいい（部会）
- ② 個人情報保護の壁を乗り越えるため、常日頃のお付き合いがあるといい（部会）
- ③ 地域社会で学生を育てる姿勢があるといい（部会）
- ④ みんながつながれるイベントを創出・継続していくといい（部会）
- ⑤ 地域間交流を増やし、住民同士が地域コミュニティの維持・向上を考えるきっかけを作る（円卓会議）
- ⑥ 小学校区と元学区単位の自治活動について活動範囲の見直しなど検討する（円卓会議）
- ⑦ 大学等と協働により、多様な年齢階層の地域活動への参加を促すための取組を考える（円卓会議）
- ⑧ 区民が交流できる施設としての新上京区総合庁舎の建設（新総合庁舎区民ワークショップ）



施策1 地域力の維持・向上

元学区単位の住民自治を支えてきた地域力。全ての活動の基礎となる地域力を維持・向上させるため、これからも地域内で顔が見える関係を維持する取組を進めるとともに、新しい小学校区内での交流も進めます。また、多様な年齢層の人々に地域活動に参加してもらえる取組を進めるとともに、区役所を交流の場として活用できるよう整備を進めます。

①～④ ⇒ 事業：地域内での交流機会の拡大

- 具体事業例 ・ 子ども見守り活動などを活用した地域でのあいさつ・声かけ運動の実施 区・民
- ・ 区ふれあい事業，PTA活動，各学区各種団体事業，自治会・町内会事業等の周知と参加促進 区・民

⑤+⑥ ⇒ 事業：地域同士の交流の促進

- 具体事業例 ・ 元学区単位の自治活動の統合小学校区単位での交流の促進 民

⑦ ⇒ 事業：多様な年齢階層の地域活動への参加促進

- 具体事業例 ・ 大学，PTA，NPO団体などとの連携・協働 区・民

⑧ ⇒ 事業：区民が交流できる場にふさわしい新上京区総合庁舎の運営

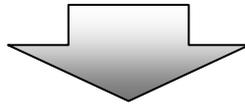
- 具体事業例 ・ 区民交流スペースの住民参加による運営方法の検討 区・民

事業主体

- 市 ⇒ 市各局所管事業 区 ⇒ 区役所，区内行政機関所管事業
民 ⇒ 区内各種団体，NPO，企業，大学主催事業

新旧交流のおつきあいに関する意見

- ① 建設前に、地域とマンションオーナー、管理会社などが自治会加入について協議する仕組みを考える（円卓会議）
- ② マンション住民との間をつなぐコーディネーターの派遣等の仕組みを考える（円卓会議）
- ③ 災害時の共助を切口に、自治会の存在意義をアピールする（円卓会議）
- ④ 日常的な挨拶や参加型の催し物など、参加を促す雰囲気づくりをする（円卓会議）
- ⑤ 多様な人々（区民・事業者）の交流のため、みんなが集まれる場所・仕組みがあるといい（部会）



施策2 新旧交流のコミュニティづくり

住民自治の基礎単位である自治会・町内会。近年、自治会・町内会への加入率が低下しているといわれています。また、上京区でもマンションに代表される共同住宅にお住まいの世帯や単身世帯が半数を超え、これからの自治活動には共同住宅居住者や単身世帯の参加がこれまで以上に大切です。防災・防犯、地域福祉の取組が活発な、暮らしやすい上京区を次の世代に残すため、新旧交流のコミュニティづくりを進めます。

①+② ⇒ 事業：マンション住民等の自治活動への参加促進

具体事業例 ・ 地域とマンションオーナー、管理会社との事前協議の仕組みづくり

区・民

③～⑤ ⇒ 事業：地域活動への参加を促す取組への支援

- 具体事業例
- ・ 自主防災活動への幅広い呼びかけ・参加 区・民
 - ・ 子ども見守り活動などを活用した地域でのあいさつ・声かけ運動の実施（再掲） 区・民
 - ・ 区ふれあい事業，P T A活動，各学区各種団体事業，自治会・町内会事業等の周知と参加促進（再掲） 区・民
 - ・ 地縁，職業縁，テーマ・関心縁，志縁団体などの交流促進 区・民